

平成29年度 第3回 学校運営協議会 記録

男鹿市立潟西中学校

日 時 平成29年12月20日（水）12：30～14：30
会 場 校長室

□協議会（司会：教頭）

- (1) これまでの学校運営の経過説明（校長）
- (2) 保護者アンケートによる学校評価結果の説明（教頭）
- (3) 本校教育に関する意見、感想、質問等を交えた協議
（近隣町内との合同防災訓練、キャリア講話についてなど）

【三浦委員】

非常にたくさんのコミュニティ・スクールの取組をしていて驚いた。子どもたちにとってはとても幸せなことだと思う。先生方は、事前、事後の指導も難儀したことと思う。

【大淵委員】

子どもたちはたくさんの経験ができていて素晴らしいことだ。勉強も大切だが、社会で生きて行くにはそれだけでない。これから職業選択する際に、今までの地域との関わりや様々な体験が、子どもたちの視野や幅を広げていくことになると思う。

【佐藤委員】

以前、市教委主催のコミュニティ・スクール連絡協議会で、ある学校の校長が、頑張っているのは校長、教頭だけと言っていた。本校はどうか。

【校長】

先日の地域と協働して実施した防災訓練などにおいても、先生方が協力して進めることができた。小さな学校なので、1人の職員が複数の分掌を受け持っている。これ以上職員に大きな負担をかけないように、コミュニティ・スクールに関連して新たに組織を作って先生方に分掌を持たせることはしていない。校長、教頭が窓口となり、実施する内容によって、担当教諭に依頼するという形で行っている。

【鈴木委員】

先生方の負担はどうか。逆に心配している。

【校長】

歯の教室、お薬教室、箏の教室等は、これまでも保健体育や音楽など教育課程に位置付けて実施してきたものである。これ以上新たに取組を増やさずに、今後は、それぞれの取組の充実を図るという方向で進めていきたい。

【鈴木委員】

保護者アンケート No. 10「キャリア教育」の数値が上がっている。教頭先生から質問項目を具体的にしたからという説明があったが、子どもも親も職業に関しては非常に興味がある。

本校出身の原田薫さんという方がいる（潟西中出身62歳、理容師、黄綬褒章受章、浅内在住）ので、3月の先輩の体験発表に薦めたい。

【村上委員】

アンケートの情報モラルの項目に記載されている「生徒によるアンケート」に興味がある。どのようなものか。

【清水】

本校の目指す生徒像に照らして、質問項目を1つの生徒像に対し5つ、全部で15の質問項目で、年に2回実施している。

【三浦委員】

中学校時代は、まだ何も分からない状態だがよい時期だと思う。そのような時期に様々なよい体験をして、周りの人たちが見てくれている、愛してくれているという思いが重ねられていくと、それが下地になって、いつか困ったときにも頑張ろうという気持ちが培われていくのではないか。今すぐ効果が出るわけではないが、確実に子どもたちの将来のためになっていると思う。

【渡部委員】

学校のキャリア教育の充実に熱が感じられる。多感な時期にいろいろな経験を仕組み、子どもたちの視野を広げるための活動が充実している。勉強に影響のない範囲で進めてもらいたい。

いずれ子どもは自立する。将来の職業が見えれば頑張りたいことが見えてくる。

将来のことを考えるきっかけが増えるよい取組をしている。

【柴田委員】

キャリア教育に前向きな取組をしている。あとはどう保護者にPRしていくかである。ホームページで発信したり、授業参観後にアンケートに記入してもらったりするなど工夫するとよい。そうすると保護者の協力も得られて、コミュニティ・スクールもよりスムーズに運営される。

この会で以前話した生徒会活動の活性化が具体化され、うまくいっている。

2年生の取組がよいということで来年も期待できる。

「ようこそ先輩」は、3年生を対象にするなら3月では時期が遅い。

先生方の研修で、自分の教科以外の研究会ではお客さんになってしまう。全教科の研究会を行っているのは、他校にないよいことである。

【教頭】

次年度のコミュニティ・スクールの取組を一層充実させるための手立てについて、他に何かアドバイスや情報はないか。

【柴田委員】

新聞社に勤めていた中田尊彦（たかひこ）さん（福米沢）という人がいる。

【鈴木委員】

浜のそばの進藤さんは、魁新報男鹿支局長の三浦さんに連絡を取り情報を発信している。連携してうまく発信してくるとよい。

【教頭】

防災訓練とそば打ち体験の際に連絡をしていたが、他の取材と重なって来ていただけなかった。

【三浦委員】

地域の方は、子どもたちはかわいいが、実際には遠慮している面もある。私自身、百歳体操の時も知り合いのグループが参加したので、それでは行ってみようかと思った。その時に、名札と一緒に入っていたメッセージカードはとても温かいものであり、うれしく感じた。そういう配慮が、また来てみようという気持ちにさせてくれる。

一つの行事をしばらく続けることで、参加するきっかけが増えてくると思う。防災訓練も、まずは対象を広げないで、地域を限定して継続してみることが大切だと思う。

【鈴木委員】

防災集会では、地域の人を迎えたり送ったり接したりする時の子どもたちの態度がとてもよかった。雰囲気がとてもよく、素直に抵抗なく対応してくれた。